

平成 27 年 12 月 洪水(低気圧)による 中筋川の出水状況について

～中筋川ダムにより河川水位を低減～

●中筋川ダム上流域の雨量

累計雨量 = 167mm (12月10日6時～11日3時)

最大時間雨量 = 61mm (11日0～1時)

※ダム管理を開始した平成11年以降12月期の時間雨量としては過去最大

●この豪雨により、中筋川は、氾濫注意水位 (5.50m) を越える

●中筋川ダムへの最大流入量(毎秒93立方メートル)の89%をダムに貯め、
放流量を毎秒10立方メートルに低減

中筋川(磯ノ川地点)の水位を約55cm低下

横瀬川ダムがあった場合は、さらに約32cmの水位低減効果が期待できたと推測

平成 27 年 12 月 14 日
国土交通省 四国地方整備局
中筋川総合開発工事事務所

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所

電話 (0880) 66-0142

副所長 坂本 雄彦 内線 (204)

◎調査設計課長 増田 稔 内線 (351)

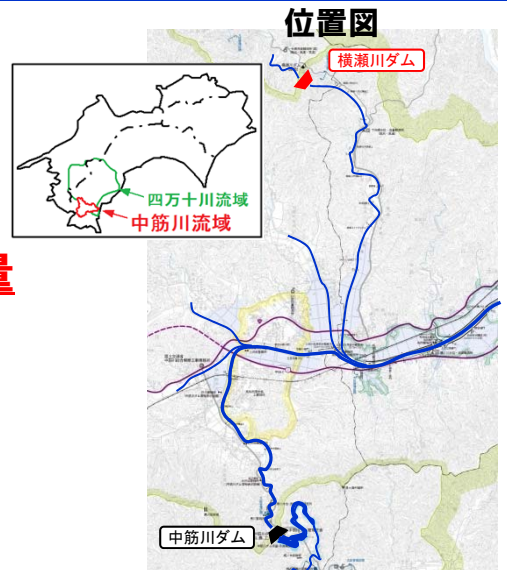
管理課長 山下 正浩 内線 (6121)

◎主な問い合わせ先

平成27年12月 洪水(低気圧)による出水状況 ～中筋川ダムにより河川水位を低減～

167mm(時間最大61mm)の雨

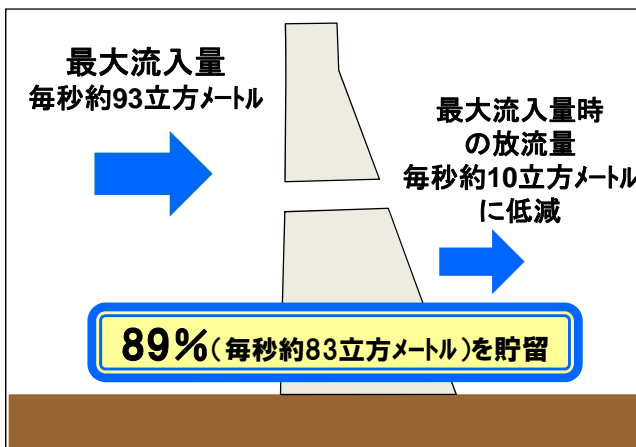
中筋川ダム上流域において、12月10日6時～12月11日3時にかけて **累計167mm(時間最大61mm)**の降雨となりました。
ダムが管理を開始してから、**12月期の時間雨量としては過去最大**となります。



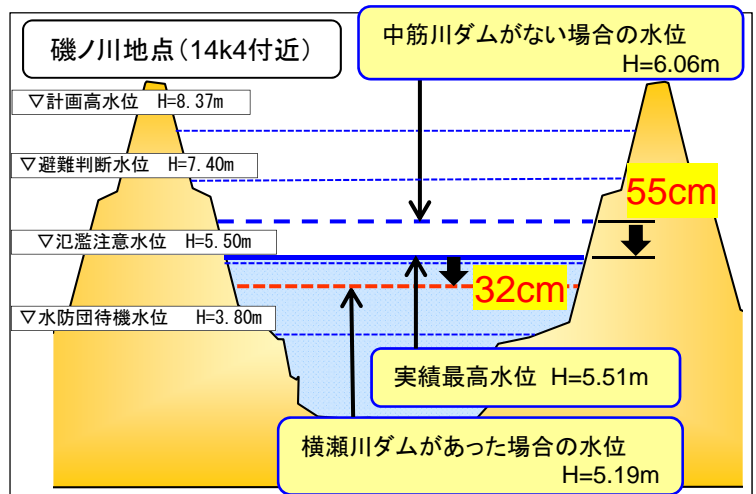
中筋川ダムにより89%を貯留

中筋川ダムへの最大流入量毎秒約93立方メートルの**89%を貯留**し、ダムからの放流量を毎秒約10立方メートルに低減しました。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23四複、第84号)を一部転記したものである。



中筋川ダムの防災操作状況
(12月11日 2時30分)



※上記 (H: 量水標) の値に0.577mを加えた値が標高 (m) となります。

中筋川ダムにより河川水位を低減

中筋川ダムの防災操作により、**礪ノ川地点では約55cm水位低減させ**、中筋川ダムが無かった場合は氾濫注意水位 (5.50m) を越える6.06mであったと推測されます。

横瀬川ダムにより更に約32cm低下

横瀬川ダムがあった場合は**さらに約32cmの水位低減効果**が期待できたと推測されます。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。